

令和4年度総会報告

2022年度のNSN定期総会が3年ぶりに年度初めの4月に開催され(23日、於石神井公園区民交流センター)、新役員を選出したほか、以下の議案を審議し、承認・議決しました。役員等を除く議案の議決内容については、別紙報告をご覧ください。

- 第1号議案 2021年度活動報告
- 第2号議案 2021年度会計報告
- 第3号議案 2022年度活動計画
- 第4号議案 2022年度一般会計予算
- 第5号議案 NSN会則の一部改定
- 第6号議案 役員等選挙

総会も無事に終わりました。今年度こそ、コロナ感染をワクチン接種等で予防しつつ、NSN活動を本格的に再開しましょう！

最初は5月29日のチャリティ・オークション、次は6月5日のシニアセミナー(講師は過去最高評価の渡邊一雄先生。聴講できます)、夏には新企画満載のサマーフェスティバル(8月28日)が開催されます。また、7月・10月にはセカンドライフ研究会で介護等身近な課題を話し合います。

今回の総会で役員等に選出されたのは、以下の皆さんです。

- 会長 武藤 哲(トントンねりま)
- 副会長 大貫 雅弘(ひまわり)
- 事務局 美濃 眞一郎(一笑会)
- 事務局 井上 隆雄(いちご会)
- 会計 桂 幸嗣(みんなの会)
- 会計監査 阿部 久美子(なわやか、17)

新役員の任期は2年間で、武藤・大貫・桂・井上各氏は再任のため、2024年4月で現在の役職からは退くこととなります。これからの2年間、NSNの活動に精一杯尽力することにも、今後の活動を担う方々への引継ぎに努力していきます。男女は関係ありません。皆で一緒にやりましょう！

なお、シニアセミナー委員会等の世話役については、今後、各委員会等の委員が相談して、決める予定です。(武藤 哲)

☆ミニフリッシュを楽しむ会(四水会)

(日時) 毎月第4水曜日 14:00~16:30
(場所) 男女共同参画センター エーる
(会費) 無料
(申込) ひつみ会角地 ☎03(9)04(8)0005

【第5回セカンドライフ研究会】

4月18日午後2時から石神井公園区民交流センター2階集会所で、「認知症をテーマにセカンドライフ研究会が行われた。事務局を除き25名の参加で男女ほぼ同数、同期会結成数年後の若い会からの参加が多い。

人生百年時代、認知症は誰でもが患う可能性がある。認知症について正しい知識を身につけ、認知症と上手に付き合え、認知症になっても前向きに生きる姿勢が大切。

マスク着用のため、声がよく聞こえない、隣のグループの声が大きすぎ、グループトクには厳しい環境だったが、参加者からは「体験談を聞いて良かった。他の会の様子も聞いた。何年ぶりかのおしゃべりができた。」など、好意的な感想が多く寄せられた。

事務局 角地



【編集後記】

NSN定期総会が過日行われ、結果は本号で報告しておりますが、今年度の各行事は、例年より行なわれないうすです。(五)

【会員のひろば】

《睦会のお花見》

石神井川沿いを歩く》

南田中川畔の桜を愛する

花曇りの一日、満開の石神井川の桜を満喫した。3月28日(月)午前11時、練馬高野駅に集合、13名が参加した。

睦会のお花見の歴史を振り返ると各地を訪ねている。上野公園、新宿御苑、小金井公園、光が丘公園、石神井公園、航空公園、石神井川中流域(板橋く飛鳥山公園)、そして今回の観桜会。

今日は高野台の薬師堂橋から石神井川の上流に向けて散策した。橋の上から観る上流の桜が美しい。近くに薬師堂があったのが、いつの時代かに観蔵院へ移された。長光寺歩道橋、川沿いに桜並木がずっと続く。傍らに昔、長命寺の隠居寺であったといふ。右岸の崖線は「元締山(もとじめやま)」の森緑地、昔はこの辺りは、旧用水路が細い道として曲がりくねって流れていた。崖線上には斜面林が連なる水と緑の美しい田園地帯が広がっていた。両岸の田圃・牧場だった所に現在の南田中団地が建った。平成みあい橋は、南田中団地の緩傾斜護岸に架かる3本の矢をモチーフにした公募デザインの木製のユニークな橋。ここから上

流を眺めると開放感がある。桜の石神井川が遠く見渡せる現代的風景だ。

未だ、牧場があった頃に、南田中4丁目に芥川賞受賞作家の庄野潤三が住んでいた(昭和28年〜35年)。この春、練馬ゆかりの作家としてふるさと文化館で生誕100年展が開かれた。講演会も開催され興味深く聴いた。昼食は南田中橋傍らの「葵寿司」で会食した。久しぶりの会合で話が弾んだ。

23年の歴史を振り返ると、多くのイベントをやってきた。貸し切りバス5台運んだツアーをした、区民向けの公開講演会も数多く開催して地域との繋がりも大事にした。講師に漫画家ちばてつや氏を迎えた講演は120人余の聴衆があり盛況だった。たくさん企画を楽しんだ。(文責 西島)



薬師堂橋にて
撮影：睦会 写真の集い 有山

《今思う》

学生時代10年間くらいでしゅつか、練馬区石神井北田中に姉妹3人で住んでおりました。(私たちは東北育ちで、何故かこの土地を選んだのか知りません)その頃、北田中には鴨下水車があり、道はぬかるんで、駅周辺も東京の雰囲気は全くなく、田舎っぽい感じでした。

その後、他の土地に住むことになり、10年、友人の勧めで一笑会のメンバーに加わり、活動地の石神井を散策して、そのあまりの変わり様、あまりの都会的な変化に驚きました。思いつき、北田中の変わりようも見たいと記憶を頼りに、探し回りましたが、結局迷子になり、道を聞きながらやっと駅にたどり着きました。

これまで、毎日の生活の合間に自分の楽しみとして、キルト・リメイク・楽器を細々と続けています。キルトはミシンを使い、リメイクは着物布で洋服や袋物等、例えば大人のセーターの袖で子供のレッグウオーマー、身頃はスカート、好きな柄の布ならばバックパック、残りの布を紐にしマット等、考えることが楽しく、出来上がりを自画自賛しています。

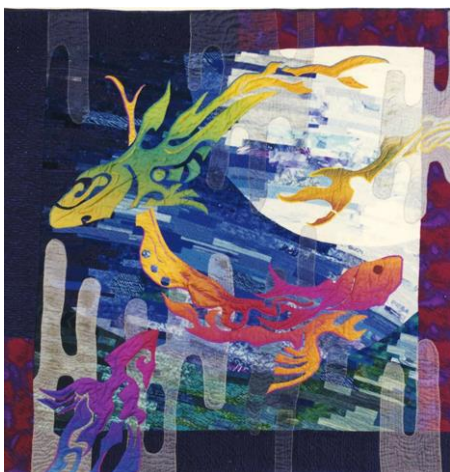
作の方・方法をその都度先輩に教わり、多くの友人ができました。思い出

すと皆さん、親切でやさしく、笑顔の方はかりでした。今まで出会ったすべての方たちがすごでした。私の周りにはなんて素敵なお人ばかりなのでしよう。しみじみ感じております。

出会えた多くの方に「きつんと」ありがとうと気持ち伝えることが出来ていたのでしゅつか。疑問も残ります。反省も残ります。

「ありがとう」「ありがとう」と広い空に向かい、夕日を奏でる彩に向かい気持ちの中で叫びています。その多くの中にも今の自分があると思っています。

一笑会 岩田澄江



キルトの作品